



37 創立：1984.7.10/証認：1984.8.6
国際ロータリー第2660地区

大阪鶴見ロータリークラブ会報

事務所：〒534-0026 大阪市都島区網嶋町9番10号 太閤園内
電話：06-6357-8171 ファックス：06-6357-8011
例会日：毎週火曜日 12時30分/例会場：太閤園
会長：濃添敬造/幹事：吉羽潤司/SAA：中村浩一
電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp
ホームページ：http://rc-osaka-tsurumi.jp/



ロータリーは機会の扉を開く

本日の例会

〈第1691回〉2020年11月10日(火) 本年度第15回

卓話

ロータリーの職業奉仕
知っておきたい四大用語

担当：菊井会員

次回の例会

11月17日(火)

次回卓話

私の仕事、パート14

担当：発会員

- ロータリーソング
 - ランチタイムミュージック
- 君が代・四つのテスト

前回の報告

会長インフォメーション

PRESIDENT INFORMATION

会長：濃添 敬造

明るいニュースを探す 鬼滅の刃

コロナや災害やなどで暗いニュースが多い中で、明るいニュースを探してご紹介したいと思っております。今日は、コミック・テレビアニメ・劇場映画と驚異的ヒットとなり、社会現象となっている、呉峠呼世晴(ごとうげこよはる)さんの「鬼滅の刃」。コロナ禍で、映画館に客が入らない状況の中、それを逆手に取って、シネコンのスクリーンの大半を話題の「鬼滅の刃」の上映に回した策が功を奏して現時点で史上最高の動員数を数えているそうです。もちろん作品が素晴らしいからでしょう。

時代は大正時代、主人公「かまどたんじろう」は、亡き父の跡を継ぎ、炭焼きの仕事で家族の暮らしを支えています。たんじろうが家をあけたある日、家族は鬼に虐殺され、独り生き残った妹は、鬼と化してしまいました。たんじろうは、唯一残った妹ねずこを人間に戻すために、鬼と戦い剣術の修行を続けます。

ヒットの要因はさまざま言われますが、たんじろうは鬼滅隊で修行をかかさね、全集中と言われる呼吸法を身に付け、妹ねずこのために鬼と戦うという王道のヒーローパターンに加え、たんじろうが本来戦いを好まない優しい人格であること、そして妹ねずこは、単純に守られるだけではなく、時にはたんじろうを助ける強いヒロインであること、敵味方ともに語られる家族愛。鬼には鬼になった理由があり、鬼が死ぬときには、その生涯の走馬灯を見ながら最後をむかえます。この作品には現代社会のさまざまな問題定義のメッセージが挿入され、単なる娯楽作品を越えた魅力が、老若男女をとらえたのではないのでしょうか？

今年のもう一つの大ヒット作品「半沢直樹」現象が昭和から続く勧善懲悪の世界としたら、鬼滅の刃はそのアンチテーゼなのかも知れません。

この大ヒットは海外でもニュースに取り上げられ、今後海外でも大ヒット間違いないと言われております。期待したいですね。

ロータリー財団月間

大阪鶴見ロータリークラブテーマ「Regrowth(再び成長する)の機会を！」

守口イブニングロータリークラブより創立20周年記念のご挨拶が届きました。

今後の予定

12月12日(土) 地区大会
オンライン参加が可能です。

来3月 6日(土) ロータリーデー
出席者; 濃添会長、吉羽、水口会員
オンライン参加が可能です。

😊 NIKONIKO箱 😊

¥25,000.- 累計 ¥159,000.-

稲垣 会員 本日初めての卓話です。
よろしくお祈いします。

小山 会員 先週例会欠席のお詫び
大学の友人と2人で大台原山と吉野山にドライブし、絶好の青空と紅葉を満喫しました。
麓の温泉で、GOTOキャンペーンで温泉にゆっくりとつかり、久しぶりにリラックスできました。

中森 会員 長らくお休みして申し訳ございません。

濃添 会員 10月に入って4週連続で例会が開催できました。
稲垣会員、イニシエーションスピーチよろしくお祈いします。

清水 会員 前回例会欠席のおわび

津野 会員 長期欠席のおわび

出席報告 10月27日【1690回】

会員数	31名	ビジター	0名
(内出席規定免除)	11名	ゲスト	0名
出席会員	20名中 14名	出席総数	20名
(内オンライン参加)	0名	前々回	23/28 M/U 2名
出席免除会員	11名中 6名	修正出席率	82.14%
(内オンライン参加)	0名		
出席率	20/26 76.92%		

大阪鶴見RC国際交流基金

¥2,000.- 累計 ¥21,000.-

秀島 会員 今年の芋は美味しいと評判(家内だけです(笑))です。
おみやげ、ありがとうございました。



10月18日 さつまいもスクール

11月の表彰とお祝い

◆誕生日

11月 6日 中森 恭平
11月24日 木村 和雄
11月25日 山本 良一
11月28日 西野 政治

◆在籍年数

28年 発 剛士、 20年 覚野 廣久
18年 田中 英司、 15年 山本 隆一
14年 山崎 修一

◆ホームクラブ10回連続賞

水口 敦司、 須田 幸史朗

◆結婚記念日

11月 8日 発 剛士
11月15日 田中 英司

◆事業所創立日

11月 1日 小山 義之
11月 1日 須田 幸史朗
11月12日 稲垣 良二

各会員

卓話

イニシエーションスピーチ

担当：稲垣会員



今年度入会させて頂きました、稲垣良二と申します。初めての卓話で自己紹介させて頂きます。つまらない内容かと思いますが、しばしお時間を頂ければと思います。

私は、昭和37年10月14日、愛知県春日井市大留町で生まれました。古くからの村で”稲垣姓”ばかりのところ。家は町内に3軒あった八百屋で、昔のことですから肉も魚も薬も大抵の物は置いてあり、祖母と母で商売していました。父は自分で始めた工務店をやっていました。現在は区画整理に伴い、どちらも廃業しています。

皆が商売をしていましたので、家族が揃って食事をした記憶がありません。朝起きたらご飯とみそ汁は用意されているのですが、おかずは自分たちで食べたいものを店からとって料理していました。そのおかげで、大学時代に下宿しても、自炊することは苦になりませんでした。

小学生の頃は、休みに早朝から母について市場へ行き、市場飯を食べるのが楽しみでした。もっと小さい時は、父に朝から行きつけの喫茶店に連れて行かれ、そこのお兄ちゃんと一日遊んでもらっていました。名前を安藤豊明と言います。彼は芸能界へ入りました。今の“奥田瑛二”です。

一つ違いの弟がいます。名前を良一と言います。ちなみに父は良三です。私は長男ですが良二です。中学までは同じクラブ活動をしていましたが、高校で柔道を始め、体格も大きくなり、どちらが長男かわからなくなりました。弟は卒業後、柔道でスカウトされ、実業団全日本を制するまでになりました。私は、地元の中学・高校でバスケットボール部に入り、芝浦工業大学へ入学してからも、結局バスケ

部に入り、かれこれ10年間やり遂げました。

昭和60年卒業後は、現在の東レ建設株式会社に入社しました。当時東レ建設という会社は、東レエンジニアリングから昭和57年に分社された創業間もない会社で、2期生です。工事現場監督として配置され、建築のモノ造りの楽しさにはまりました。

妻とは平成元年に結婚しました。初代の社長秘書をしていた同い年の女性ですが、入社は私より早かったので、先輩面しています。妻の家へ「嫁に下さい」と頭を下げに行った時、親父さんに「わかったが、一つ条件がある」と言われ、ドキッとしました。その条件は「娘を飛行機には乗せてくれるな」でした。「あんな鉄の塊が空を飛ぶなど信じられん」と、新婚旅行は海外へ行くものだと思っていましたので、「船だったらいいですか」と聞きましたら、「娘は泳げん」と言われ、新婚旅行は、私の車で九州までドライブということになりました。結果未だに結婚してから海外旅行へは行ったことがありません。

義父は、桐箱作りの箱屋の大將で、まんが日本昔話に出てくるような面白い方でしたが、一昨年亡くなりました。茨木にある辨天宗の熱心な信者さんで、同じ年に辨天宗の管長さんも亡くなりました。管長さんは、茨木西ロータリークラブのロータリアンであったことは、私が入会した時に頂いた”ロータリーの友”で管長さんの奥さんが、簡ガバナーを紹介されていて知りました。何とも不思議なご縁でした。

趣味は、お付き合いでやるゴルフと、妻と韓流ドラマにはまっています。若いころはスキーによく出かけましたが、今となっては筋力がついていきません。

息子2人がいます。2人とも既に社会人となり、たまには妻と4人での家族ゴルフコンペもします。腕前の方は、既に息子たちに軍配が上がっており悔しい限りです。長男は昨年台風の中、ラグビーW杯スコットランド戦の日にご当地横浜で結婚しました。

今は、息子たちの後、我が家へ来た“豆柴”と柴犬ライフを楽しみ元気をもらっています。

こんな男ですが、これからロータリーで勉強し、皆様と幅広くお付き合いさせて頂ければと思います。どうぞよろしく願いいたします。



担当：中森会員

ロータリーのいろは 3 ～ ロータリーの創立期 ～

山崎修一

過去2回の「ロータリーのいろは」では、「基礎の基礎」とも言える「ロータリーの樹」及び「奉仕の理想」について「卓話モデル」から抜粋させていただきました。

3回目の今回は、ロータリーの創立期について、同じく「卓話モデル」から抜粋します。ただ、過去2回は「卓話モデル2 ロータリーの職業奉仕 知っておきたい四大用語」からの抜粋でしたが、今回は「卓話モデル1 ロータリーの職業奉仕 歴史と変遷」から抜粋いたします。

(卓話モデルは、地区のホームページの「地区委員会情報」→「職業奉仕委員会」

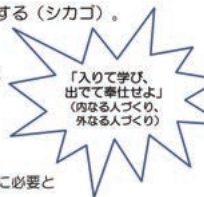
(<https://www.ri2660.gr.jp/ac/c11/>)に掲載されております。新入会員の方々ぜひご覧ください。)

以下、抜粋です。

職業奉仕関連の歴史概観 その1 <創立期>

1905 ポール・ハリス 職業人の「親睦」を軸にスタートする(シカゴ)。

1906 ドナルド・カーター 「奉仕」の考え方を持ち込む。



シカゴロータリークラブ定款

- 第1条 本クラブ会員の事業上の利益の増大
- 第2条 通常社交クラブに付随する親睦およびその他の特に必要と思われる事項の推進
- + 第3条 シカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広める

ここで話されているところを、ロータリーの歴史の中で見ていくことにしましょう。

ポールハリス

ロータリークラブは、1905年、米国イリノイ州シカゴの青年弁護士ポール・ハリスが「友情とビジネスを混ぜ合わせたら、友情もビジネスも増えるのではないか」というアイデアをもとにして、3人の友人と語り合って発足させたと言われています。

ポールは、同業者間の親睦の難しさを痛感していたので、競争相手とならない友人の輪を作り出そうと、会員を一業種一人に制限したのです。これがロータリーの職業分類制度の始まりです。

この職業分類制度によって、会員は、クラブに対しては自己の職業の代表者という責務を負うことになり、また、ロータリアン以外の人に対しては、日常の仕事を通してロータリー精神を普及する責務を負うことになりました。この二つの責務が職業奉仕の基礎となったのです。

ところで、ロータリー誕生当時の定款(シカゴクラブ、1905年)は以下のようなものでした。

一人一業種制度の限定会員制クラブとして4名で創立する。

第1条 本クラブ会員の事業上の利益の増大

第2条 通常社交クラブに付随する親睦およびその他の特に必要と思われる事項の推進

このように、創立時は「親睦」団体で“Back Scratching”(お互いの背中を掻きあう)の世界だったのですが、やがて奉仕も行うクラブに変わっていききました。

ドナルド・カーター

そのきっかけとなったのが、1906年でした。その年、入会を誘われたドナルド・カーターは、一業種一会員制は自分達だけのエゴイズムであり、他の同業者、一般地域社会の職業人達はどうなるのかと疑問を呈したのです。

そこで、定款を改正し、

第3条 シカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広める

を追加したのです。奉仕の理念「われらの親睦のエネルギーを世のため人のために」が導入されたことにより、ドナルド・カーターは喜んで参加したと言われています。「親睦」と「奉仕」が融合したクラブとなったのです。

現在のロータリーでもよく使われている「入りて学び、出でて奉仕せよ」という標語がこのスライドに示されていますが、「入りて学び」はロータリーがロータリアンの修練の場であること(親睦を通した内なる人づくり)、「出でて奉仕せよ」はロータリアンが外に働きかける人づくり(奉仕を通した外なる人づくり)のことで、人づくりはこれらが両輪となって行うものとの意味でしょう。

ちなみに、米山梅吉氏は、ロータリーは「人生の道場である、人づくりの修練の場」と言っています。



Rotary
www.rotary.info

本日のロータリーソング

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

真実かどうか
みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか